

**AMP**040Ⅲシリーズ マルチロック コネクタ  
040Ⅲ Series MultiLock Connector**411-5924-1**

10 May 00 Rev0

## 1. 対象製品名及び型番(下記に示したものは対象製品の一部である。)

## 1. 1ハウジング

## ①プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ及び電線中継用キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ

製品名称	AMP型番	製品名称	AMP型番
16極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ1)	1123371	16極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ1)	1123350
16極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ2)	1123375	16極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ2)	1123353
16極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ3)	1123377	16極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ3)	1123355
20極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ1)	1123379	20極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ1)	1123357
20極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ2)	1123383	20極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ2)	1123360
20極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ3)	1123385	20極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ3)	1123362
24極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ1)	1123387	24極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ1)	1123364
24極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ2)	1123391	24極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ2)	1123367
24極 プラグ(メス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ3)	1123393	24極 キャップ(オス)・ハウジング・アセンブリ (タイプ3)	1123369

タイプ1,2,3はリブ位置違い。

## ②基板用キャップ(オス)・アセンブリ

製品名称	AMP型番	製品名称	AMP型番
3極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1 (注1)	1123476	16極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1	1123419
3極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2 (注1)	1123478	16極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2	1123421
4極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1 (注1)	1123395	16極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ3	1123423
4極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2 (注1)	1123397	16極 キャップ(オス)・アセンブリ 垂直タイプ	1318229
6極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1 (注1)	1123619	20極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1	1123425
6極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2 (注1)	1123621	20極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2	1123427
8極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1 (注1)	1123451	20極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ3	1123429
8極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2 (注1)	1123453	20極 キャップ(オス)・アセンブリ 垂直タイプ	1376310
8極 キャップ(オス)・アセンブリ 垂直タイプ (注1)	1376464	24極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1	1123431
10極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1 (注1)	1123407	24極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2	1123433
10極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2 (注1)	1123409	24極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ3	1123435
10極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ3 (注1)	1123411	24極 キャップ(オス)・アセンブリ 垂直タイプ	1123983
12極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ1 (注1)	1123413		
12極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ2 (注1)	1123415		
12極 キャップ(オス)・アセンブリ タイプ3 (注1)	1123417		
12極 キャップ(オス)・アセンブリ 垂直タイプ (注1)	1376465		

タイプ1,2,3はリブ位置違い。

注1: 嵌合相手コネクタは他社製。アンプでは設定されていません。

1. 2 コンタクト

① リセプタクル コンタクト

製品名称	AMP型番	適用電線(mm <sup>2</sup> )			
		種類	0.3	0.5	0.85
040Ⅲ リセ	Sn 316836-1 Au 316837-2	CAVUS	○	○	○
		CAVS/AVSS	○	○	×
		AVS	○	×	×
	Sn 1123653-1 (MS)	CAVUS	×	×	○
		CAVS/AVSS	×	×	○

② タブ コンタクト

製品名称	AMP型番	適用電線(mm <sup>2</sup> )			
		種類	0.3	0.5	0.85
040Ⅲ タブ	Sn 353537-1	CAVUS	○	○	×
	Au 353537-2	CAVS/AVSS	○	○	×

○印:適用 ×印:適用外

取付適用規格……114-5217「040Ⅲコンタクト・リセプタクルの圧着」

114-5228「040Ⅲコンタクト・タブの圧着」

専用端子抜き治具…CKZ 抜き治具(Fig.1 参照)

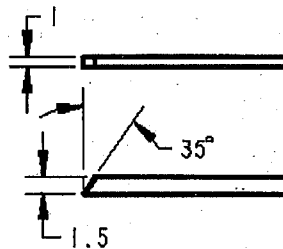


Fig.1

2. 製品の構成図

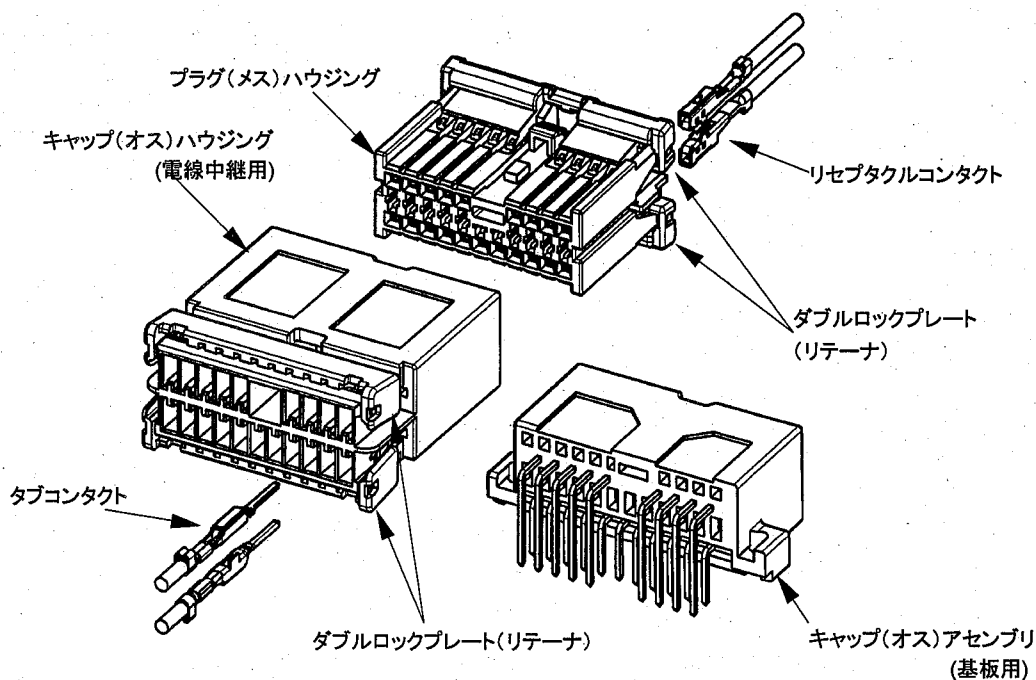
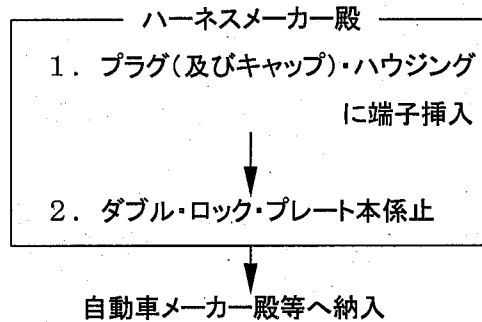


Fig.2

## 3. ハーネス組み立て工程



## 3.1 コンタクト装着作業

(1)コンタクトの方向性を確認した上で、コンタクトを指定のキャビティにロック音がする迄挿入し、それ以上挿入出来ない事を確認し、更に電線を軽く引張って端子が抜け出てこない事を確認して下さい。(コンタクトは上下反対向きに挿入します)

## (2)コンタクトの挿入方向

コンタクトの方向性はスタビライザーの向きで識別します。Fig.3,4参照

プラグ・ハウジング、キャップ・ハウジング(ハウジングロックを上として)に対して、両者とも上段コンタクトのスタビライザーが下向きに、下段コンタクトは上向きに装着します。

注)コンタクトは上下反対の向きに挿入します。

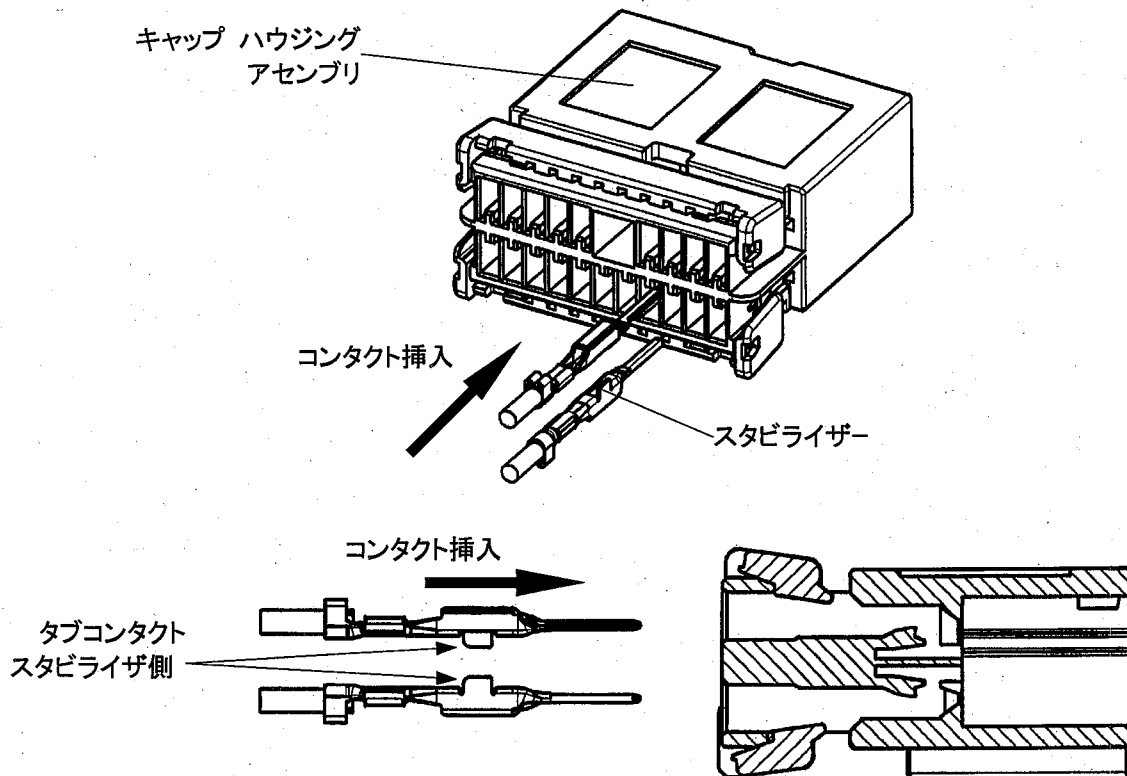


Fig. 3

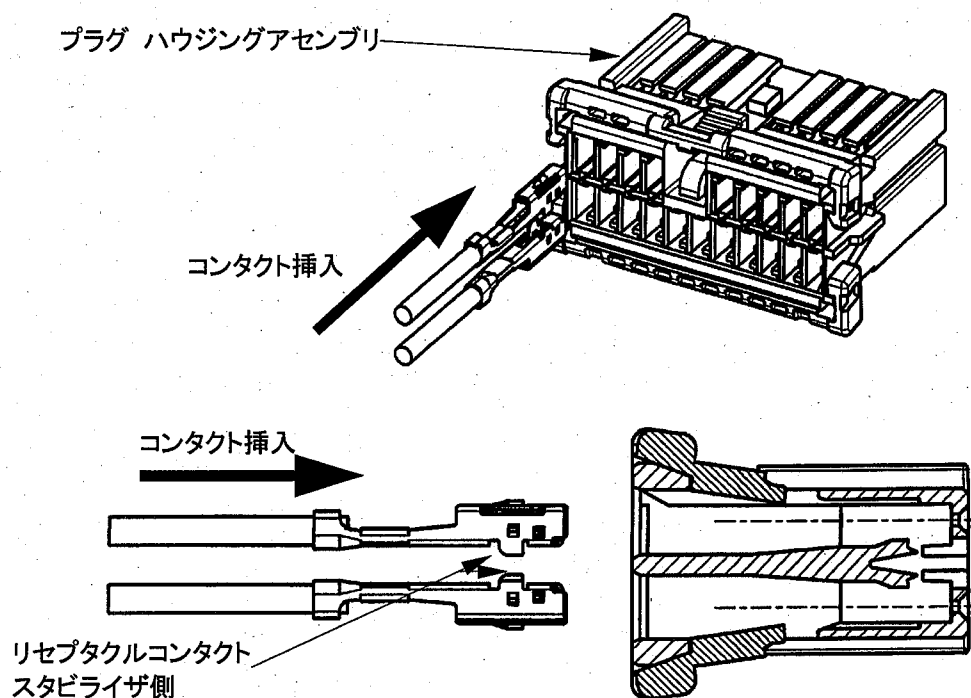


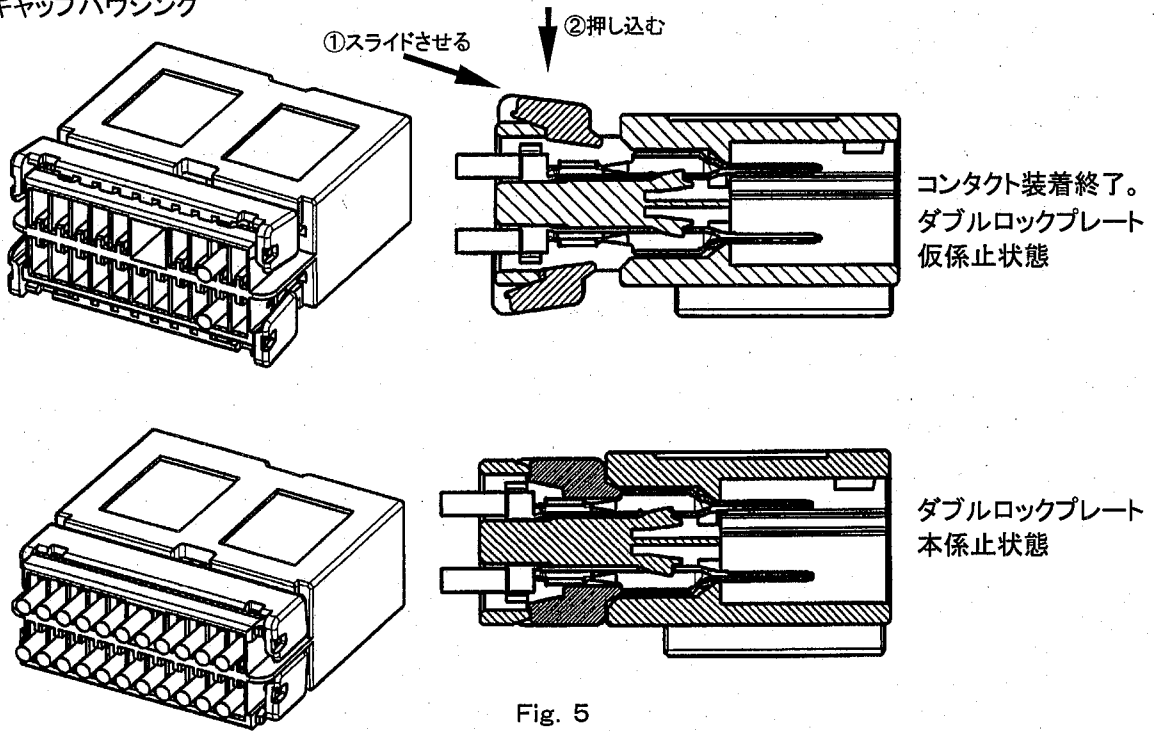
Fig. 4

### 3.2 ダブル・ロック・プレート (リテーナ) 本係止

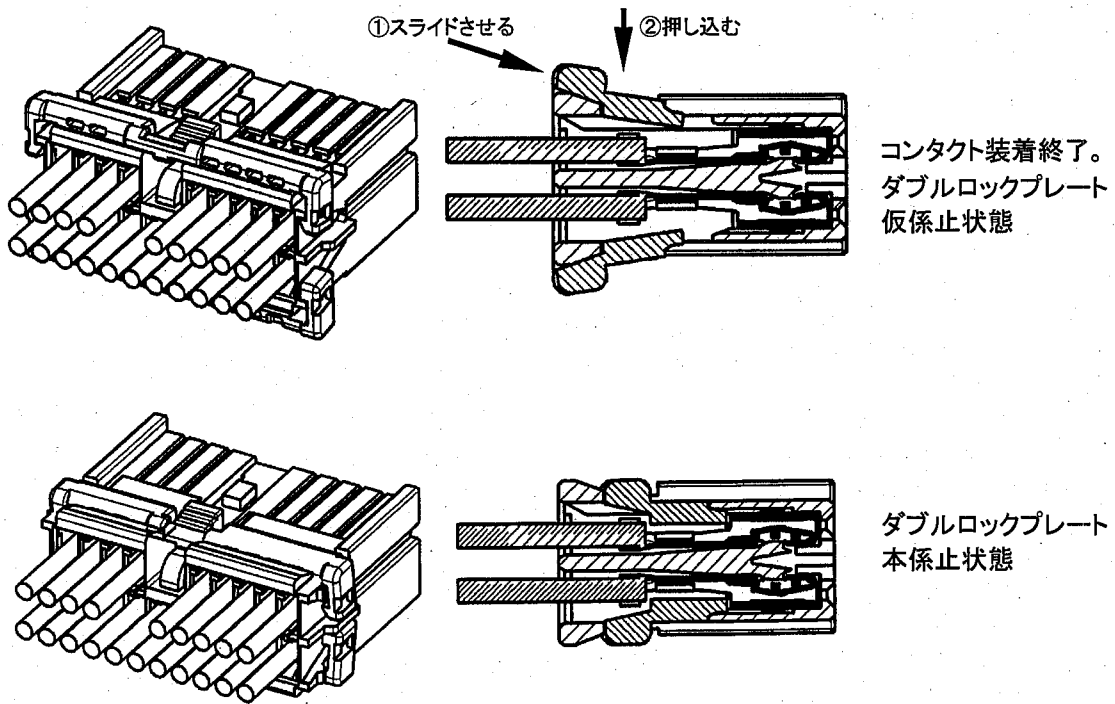
- (1) コンタクトをプラグ、キャップ・ハウジングに装着後、ダブルロックプレートをコンタクトの挿入方向に突き当たるまでスライドさせ、その後確実にロックがする迄、押し込みます。Fig. 5, 6参照
- (2) ダブルロックプレートの上面とハウジング面が同一面になったことを確認して下さい。

注) 同一面にならない場合は、コンタクトの半装着が考えられます。その場合、無理に押し込もうとせずにコンタクトの半挿入がないかどうかを確認して下さい。

キャップハウジング

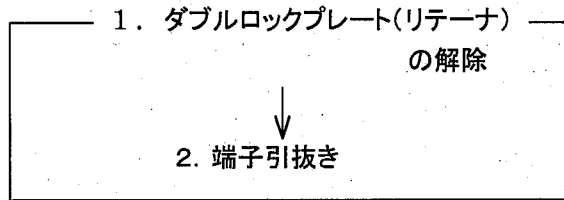


プラグハウジング



4. コンタクト引抜き方法

コンタクトを外す場合は、下記手順に沿って行って下さい。



4.1 ダブルロック プレート (リテーナ)の解除

①抜き治具 CKZ(Fig.1参照)あるいはドライバーなどを使用して、下図に示す様に抜き治具の先端をダブルロック プレート両端付近にある切り欠き部(プラグ ロック側ダブルロックプレートは中央つなぎ部分)に治具先端を挿入してリテーナ・ロックが解除されるまで持ち上げます。

②ダブルロック プレート両端を電線引出し方向にストッパーがかかるまで引いてください。Fig. 7, 8参照 注意:ストッパーの係止位置(ダブルロックプレート仮係止状態)はFig. 9参照

キャップハウジングアセンブリ

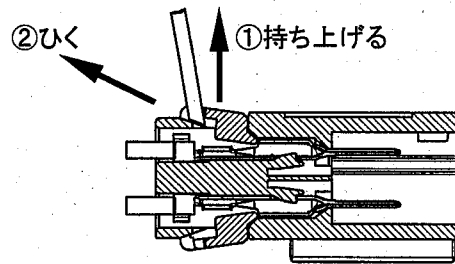
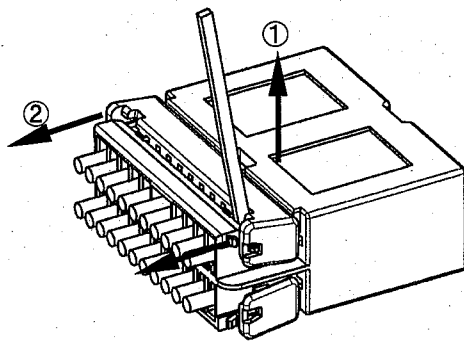


Fig. 7

プラグハウジングアセンブリ

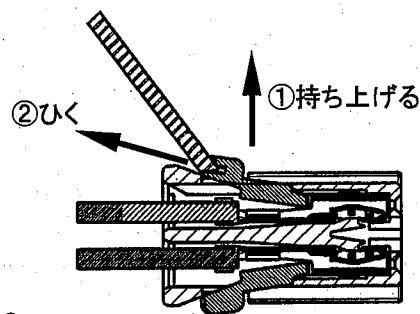
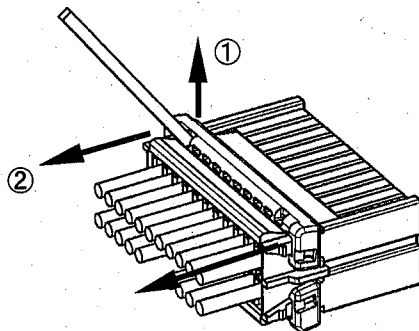
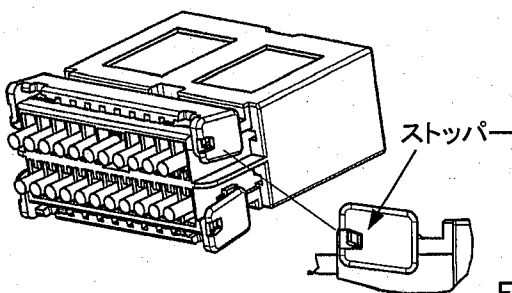


Fig. 8

キャップハウジング アセンブリ



プラグハウジング アセンブリ

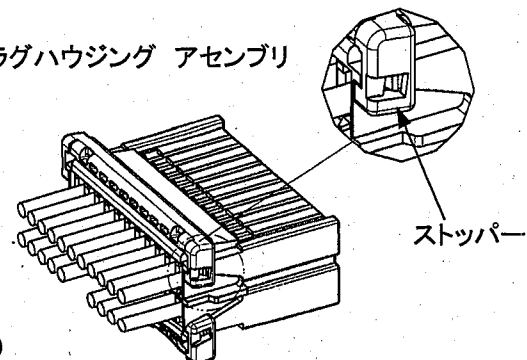
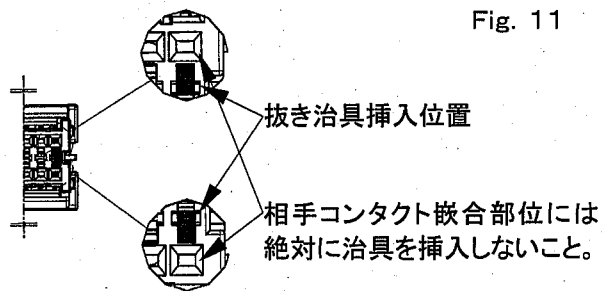
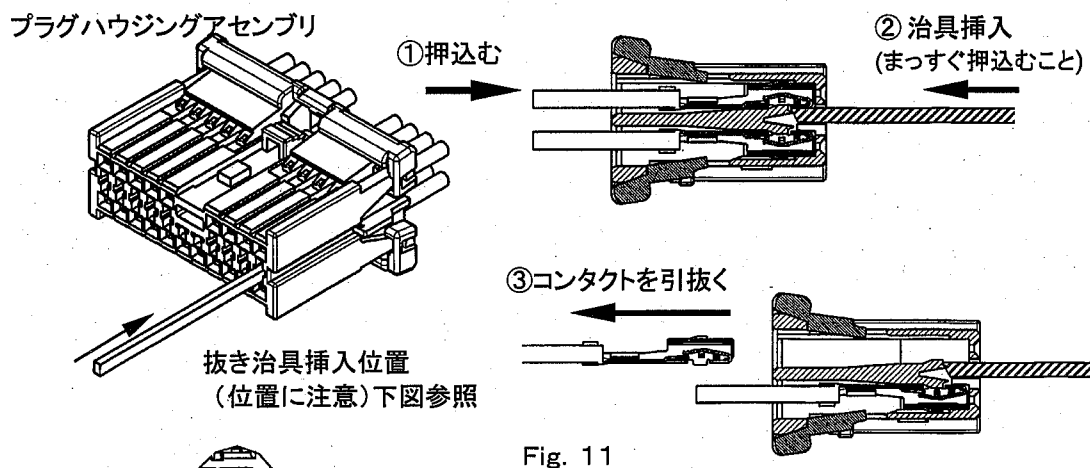
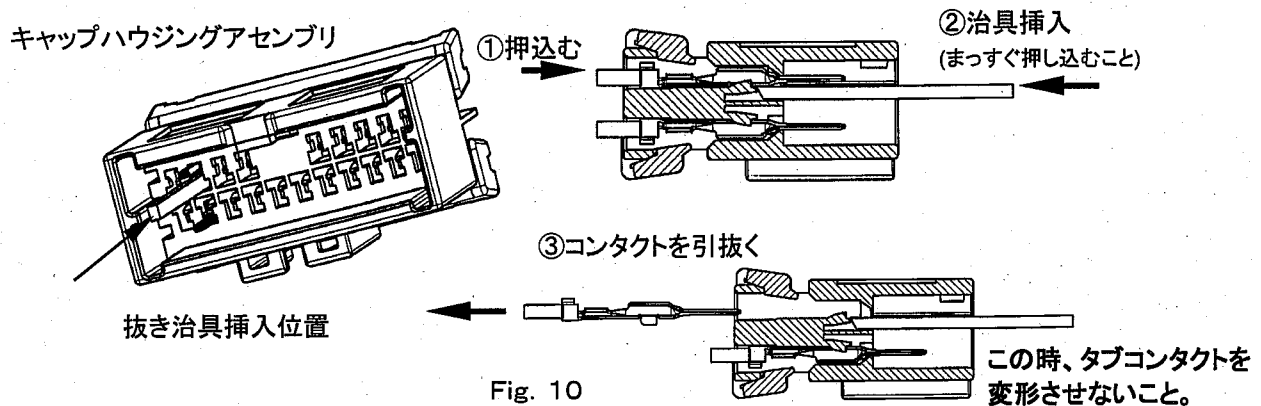


Fig. 9

## 4.2 コンタクト引抜き

(1)まず、コンタクトを軽く押込んだ後、引抜き治具(CKZ:Fig.1)を利用し下図の如く水平に挿入して下さい。挿入のみでランスが解除されるので、その後コンタクトを引抜いてください。

(リテーナが解除されていないと、コンタクトを引抜く事が出来ません)



注)誤配線などによりやむを得ずコンタクトをハウジングから引き抜く場合は、まず、ダブルロック プレートを前述の方法で解除し、以下の内容に注意して実施して下さい。

- ・コンタクトの接触部に治具、ドライバー等を絶対に入れない様に注意して下さい。コンタクトが破壊される可能性が有ります。
- ・誤ってコンタクトを変形させてしまった場合には、必ずコンタクトを交換して下さい。
- ・治具はまっすぐ操作して下さい。治具でこじるとコンタクトやハウジングが破壊する恐れがあります。このようなときはコンタクト・ハウジングを交換して下さい。



#### 4.3 ハーネス製品の管理

##### (1) 取扱いについて

コネクタや電線に無理な力を加えたり、衝撃を与えたりしないように十分注意して下さい。

##### (2) 電線の結束やテーピングについて

束ね位置はコネクタ端面から 30mm 以上離し、かつ電線に無理な力がかからないように注意して下さい。Fig. 12参照。

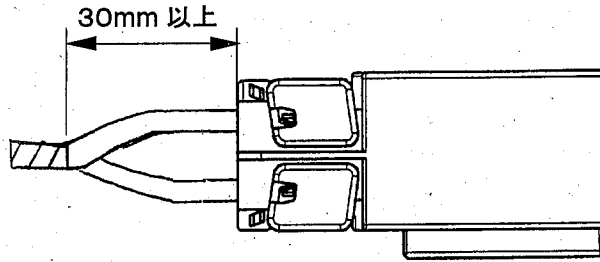


Fig.12

##### (3) 保管について

乾燥した清潔な場所に保管して下さい。また露出状態で長時間放置しないで下さい。

##### (4) 出荷・運搬について

適正な梱包箱を利用し、塵埃、雨水等を防止し、丁寧に取扱うよう注意して下さい。

### 5.コネクタの嵌合及び引き抜き作業

#### 5.1 コネクタの嵌合

(1) コンタクトのハウジングへの装着状態、電線の束ね位置は正しいか、またダブルロックプレートが本係止状態になっていることを確認して下さい。仮係止状態になっている場合は本係止状態にしてください。(3項参照)。

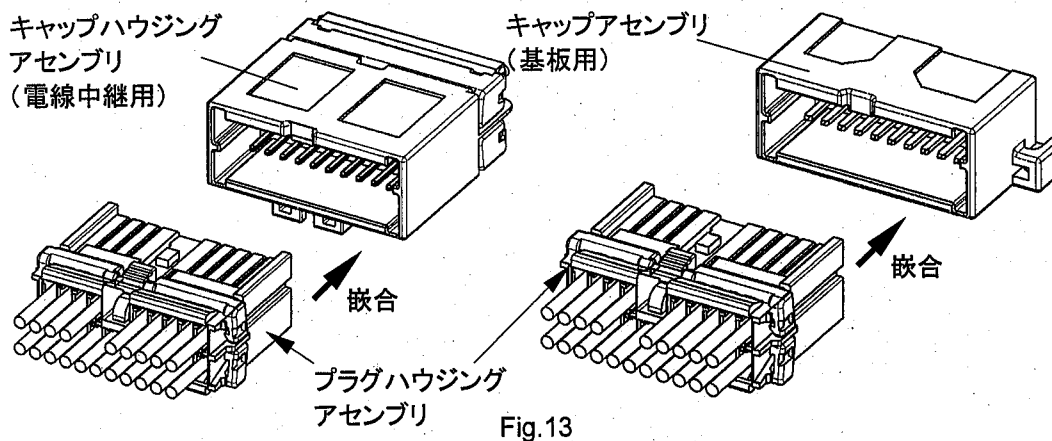
(2) 次に、端子の変形、変色、傷、錆、ハウジングの変形、割れ、欠損、変色等の異常がないか確認して下さい。

**万一、異常を発見した場合、必ず新品と交換して下さい。**

(3) 指定のプラグ・ハウジングアセンブリをキャップ・ハウジングアセンブリ、あるいはキャップアセンブリにFig.13のように真っ直ぐ挿入して下さい。

「パチン」と音がしてそれ以上押し込むことができなければ嵌合は完了です。挿入できない場合は、無理に押し込まず、(1)、(2)の項目を再度確認して下さい。

**挿入時は絶対にコネクタをこじらない(挿入方向以外に力を加えない)よう注意して下さい。**



(4)更にプラグ・ハウジングアセンブリを軽く引張り、抜けてこないことを確認して下さい。

#### 5.2 コネクタの引き抜き

プラグ・ハウジングアセンブリをつかみ、ロックレバーを押し下げながら真っ直ぐ引き抜きます。引き抜けない場合は無理に引張らず、ロックが完全に解除されているか確認して下さい。

引き抜き時は絶対にコネクタをこじらない(引き抜き方向以外に力を加えない)よう注意して下さい。

また、絶対に電線のみを持って、引張らないで下さい。

#### 5.3 その他の注意事項

- (1)コネクタの無用な抜き差しはしないで下さい。
- (2)指定コネクタ以外のものを絶対に挿入させないで下さい。
- (3)嵌合、引き抜き作業時及び嵌合後、電線やコネクタに無理な力、衝撃を与えないよう十分注意して下さい。